

開き戸  
金具

1

引戸  
金具

2

上吊式  
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動  
間仕切  
金具

5

室内用  
アルミ建具

6

折戸  
金具

7

取手・  
引手

8

スライド  
丁番

9

スライド  
ワイヤー  
バスケット

10

収納・  
吊金具

11

その他の  
家具金物

12

物干金具・  
諸金具

13

設計  
施工  
ガイド

会社案内

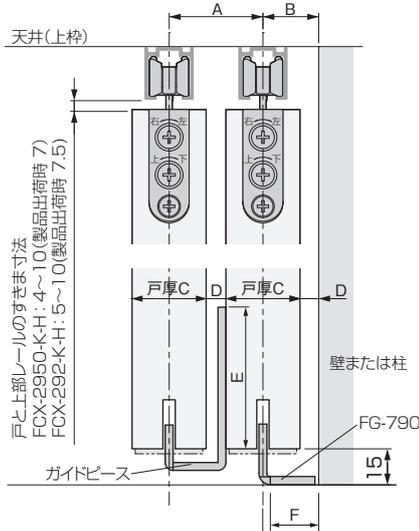
## 使用条件

本文262ページをご参照ください。

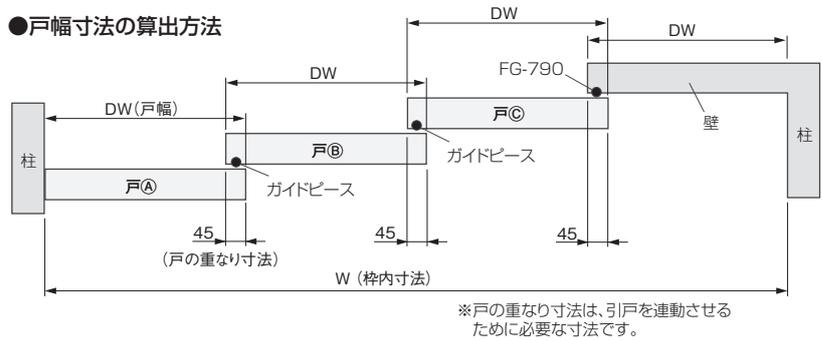
## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図

#### ●上下および側面の納まり寸法



#### ●戸幅寸法の算出方法



※戸の重なり寸法は、引戸を連動させるために必要な寸法です。

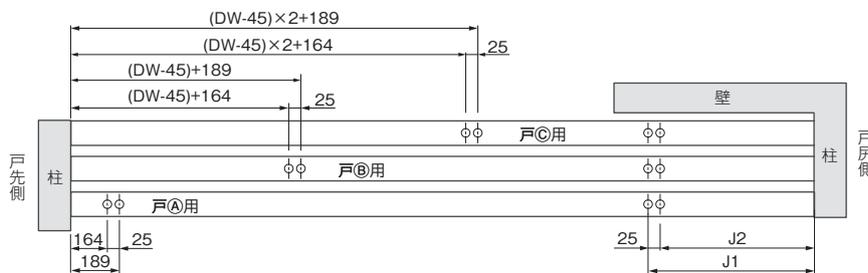
$$\text{戸幅 DW} = \frac{\text{枠内寸法 W} + (\text{戸の枚数} \times 45)}{\text{戸の枚数} + 1}$$

ガイドピース	A	B	戸厚C	D	E	F
FG-780	37	22	30	7	58	(20.5)
FG-780-24	39	24	30	9	56	(22.5)
	40	23.5	33	7		(22.0)
FG-780-26	42	24	36	6	54	(22.5)
	46	26	40	6		(24.5)

### ご注意

- 正常に引戸を連動させるために、床と戸の隙間は15mmになるようにしてください。
- 吊り車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。また、FG-790と戸が接触しないようにしてください。
- 幅1に対する高さの比率が5を超える引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。
- 引戸の幅が小さく、引戸の高さが大きい場合で、引戸の質量が比較的軽いと、ソフトクローズを解除できず、戸の開閉ができなくなるおそれがあります。

### ■レールのトリガー穴加工寸法図 ※FCX-2950-K-HまたはFCX-292-K-Hを使用した場合

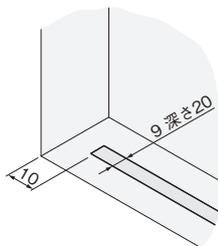


	AFDシステム	HRシステム
J1	DW-321	DW-324
J2	DW-346	DW-349

※トリガー穴加工の詳細は、FCX-2950-K-Hを使用する場合は651~652ページ、FCX-292-K-Hを使用する場合は684~685ページをご参照ください。

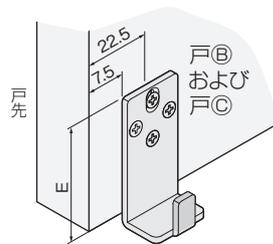
■表記訂正 (25/07/01)

### ■戸下面の加工寸法図

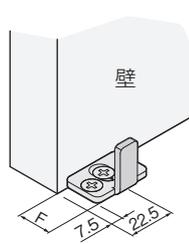


### ■金具の取付け位置

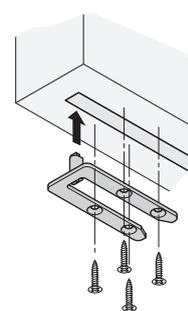
- ガイドピースの取付け (戸◎と戸◎の戸先側)



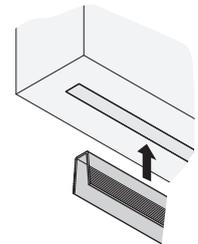
- FG-790の取付け



- FG-770の取付け



- FG-760の取付け



※両面テープまたは接着剤を併用して取付けてください。